

Laurus

の翼

令和6年12月6日(金) 【第18号】 文責 校長 高宮 裕

個別懇談お世話になりました ありがとうございました!

11月26日から7日間に渡り実施しました個別懇談では、お忙しい中ご来校いただきありがとうございました。日頃の学校での生活の様子や成長している姿、これからの課題等、様々なお話をさせていただきました。保護者の皆さんとお話しする機会が少なくなる中、有意義な時間をいただきました。今後の指導に生かしていきたいと思います。

地域の達人に教えていただきました

1,2 年生は体育の授業でインストラクターの先生にダンスを習いました。また,3,4 年生はお習字の先生に書き初めの書き方を習いました。地域にいらっしゃる専門的な技術や知識を持っている方々に様々な教科で習っています。今後も,子どもたちにいい体験をさせてあげられるよう計画していきます。









明健中学校区学校運営協議会開催

11月29日に行健第二小学校で、学校運営協議会が開催されました。会の中では、インフルエンザ等の感染状況や学区内の危険個所、登下校の安全確保につ

いて話し合われました。地域 コーディネーターや地域の方 々,PTA の OB の方々から意 見を頂き,今後の参考にして いきたいと思います。



安全な登校を維持するために

寒い冬がついにやってきて、そんな寒空の中、 子どもたちは寒さをこらえ歩いて登校していま す。毎日登校の様子を見ていますが、健気な姿に 感心しています。この子どもたちの安全な登校を どうやって維持していくか。これは本校の課題で もあります。

本来、登校時は学校の管理下外となっています。本校は 5 年ほど前に育成会が機能しなくなり、集団登校のシステムは残っていて、それを学校で運用している状況です。とはいっても,児童の登校に問題があれば、学校でも指導はします。しかし,登校班の管理や運営は本来地域や保護者で行うものなのです。

では、集団登校をなくせば…という意見もありますが、児童の安全を考えるとリスクは大きくなります。現状を考えると、地域や保護者の方々の協力と行動が無いと、安全な登校は保てなくなると思います。

では、どんなことができるのか。自分なりに考えたことの提案です。

・年に一度、登校班の保護者の顔合わせを する(誰がどの子か,親かがわかるように) ・週に一回、交代で登校班の引率をする(子

どもの様子が見える。调に1回なら…)

大人も忙しいのは重々承知です。でも、今は何事も起こりませんが、悲しい事故が起きた時、集団登校の在り方が問われ、問題になります。悲しい事故が起きる前に、何かをすべきと考えます。

子どもに子どもの命を 守らせる責任はありませ ん。皆さんで何が無理な くできるか、考えてはみ ませんか。

